

令和 8 年第 3 回雲仙市議会定例会

市 長 報 告 (開 会)

令和 8 年 8 月 2 6 日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、「令和８年熊本地震」に関しまして、これまでの経過及び市内の被害状況等についてご報告させていただきます。

今回の地震は、７月２８日１６時２７分に最大震度７の揺れが観測され、その後も余震活動が続いております。

本市においては、震度５弱の揺れを観測したことから、直ちに災害対策本部を設置し、自主避難者への対応等を行いました。

公共施設等での被害状況につきましては、小浜中学校校舎の外壁等の破損を確認したほか、民家・民有地につきましては、南串山町において屋根瓦の一部落下や墓石の転倒、農地石積みの崩壊などの被害が発生しております。

また、７月２８日から８月５日までの９日間で雲仙温泉及び小浜温泉の旅館ホテルにおける宿泊予約のキャンセル数が９８５件、２，５７９人にのぼり、地域経済に大きな影響を及ぼしております。

本市からの被災地支援につきましては、長崎県緊急支援室からの依頼により市町職員応援派遣の第１陣として、救援物資の仕分け作業や避難所支援のため、２名の市職員を、第２

陣として日本水道協会からの派遣要請を受け、給水車1台、補助車両1台、市職員2名を被災地に派遣し、業務にあたっております。

また、海上自衛隊より水道水の供給依頼があり、小浜港において給水船へ8月14日と8月16日の2日間で合計約18トンの補水を実施いたしました。

長期化する避難生活の一時的な避難場所としましては、最大で2年間、本市の市営住宅に家賃等の費用負担なく入居できる措置を講じております。なお、九州全域の旅館・ホテル等の宿泊施設への二次避難につきましては、熊本県が窓口となり、継続して実施されております。

併せて、避難を余儀なくされている被災地の方々の生活を支援するため、市役所本庁、福祉事務所及び各総合支所に、8月3日から10月9日まで義援金の募金箱を設置しております。

今後におきましても、国、県の動向を注視し、本市における災害対策や熊本県への災害支援など適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させ

ていただきます。

【産業の分野における活躍について】

7月28日、九州生乳販売農業協同組合連合会による令和7年度生乳品質共励会表彰式が開催され、出荷乳量別1部において吾妻町の松本良策様が、2年連続となる全体トップの点数で最優秀賞を受賞されました。

【環境の分野における活躍について】

7月14日、国見町の浜の田川において、長年にわたり清掃活動及び美化活動を継続的かつ積極的に実施された「浜の田川をきれいにする会」様が、地域環境の美化に尽力されたご功績により、令和8年度環境大臣表彰「地域環境美化功労者表彰」を受賞されました。

【スポーツの分野における活躍について】

7月11日から12日にかけて名古屋市で開催された「第73回全日本社会人レスリング選手権大会」女子72キロ級において、国見町出身の吉武まひろ様が見事優勝されました。

8月6日、吾妻町出身で雲仙ふるさと大使である日本相撲

協会の行司・木村光之助、本名 川原 誠様が、本年1月場所において幕内格へ昇進された報告のため、後援会の皆様とともに来庁されました。

川原様は、大相撲の本場所において本市の市章が入った装束を纏って行司を務めるなど、本市のPRに大きく貢献いただいております。

【ジュニアスポーツの分野における活躍について】

8月1日から2日にかけて開催された「松和物産杯第13回九州ブロック親善ドッジボール大会」ファイターリーグにおいて、南串山・小浜地域の児童で構成されるドッジボールチームUNZENジェイソンズが見事優勝されました。

8月8日から9日にかけて開催された「名鉄観光カップ第41回全九州小学生バレーボール優勝大会 in 大分」男女混合の部において、大塚バレーボールクラブが見事優勝され、同じく男子の部において、仙水男子バレーボールクラブが3位、同じく女子の部において、国見VBCが3位の成績を収められました。

【芸術文化の分野における活躍について】

8月2日に開催された「第71回長崎県吹奏楽コンクール」中学生の部において、小浜中学校吹奏楽部UJBの皆様が最優秀賞を受賞され、県代表として8月22日に熊本県で行われた第71回九州吹奏楽コンクールにて、銀賞を受賞されました。

8月15日から21日にかけて開催された「第50回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会」A1級において、西郷小学校2年の瑞穂丞海さんが見事金賞を受賞されました。

【雲仙市中学生弁論大会について】

7月29日に開催された「第76回社会を明るくする運動第19回雲仙市中学生弁論大会」において、各中学校の代表7名が発表し、最優秀賞に選ばれた瑞穂中学校3年の山口愛海さんが、8月5日に佐世保市で開催された県大会に出場され、優秀賞を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞されました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、

なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域ぐるみの子育て支援体制の強化につきましては、7月5日、坂本副議長をはじめ市議会議員及び関係者の皆様にご臨席を賜り「雲仙市子どもの遊び・学び場いこいこ」の開所式を執り行いました。

本施設が子どもたちや保護者等利用者の笑顔であふれ、「みんなで子どもたちに関わり、子どもたちの生きる力を育む拠点」となるよう取り組んでまいります。

地域防災体制の強化につきましては、8月2日に開催されました「第39回長崎県消防ポンプ操法大会」小型ポンプの部において、雲仙市代表として国見支団が出場いたしました。

国見支団の皆様におかれましては、長期間にわたる厳しい訓練の成果を十分に発揮され、見事準優勝の成績を収めました。

選手並びに関係の皆様には深く敬意を表しますとともに、島原消防署員をはじめ、これまで多大なるご支援・ご協力を賜りました多くの皆様に対し、心より感謝を申し上げます。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、8月11日に「第17回南串山ふるさと夏まつり」、8月15日に「みずほ夏まつり」、8月22日に「吾妻町夏祭り」、8月23日に「第13回 ふれ愛 愛の夏まつり」が開催されました。

当日は多くの人で賑わっており、主催者の皆様のご尽力に対し、感謝申し上げます。

自主財源の確保につきましては、企業版ふるさと納税制度を通じて、7月10日に株式会社共立ソリューションズ様より、「安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり事業」に対し100万円のご寄附をいただきました。また、8月5日には株式会社西海建設様より、「子育て支援事業」及び「シティープロモーション推進事業」に対し、1千万円のご寄附をいただきました。

いただきましたご寄附につきましては、ご意向に沿って、

有効に活用してまいります。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、7月27日、市議会から坂本副議長をはじめ、議員の皆様とともに、生活基盤の整備、安心・安全なまちづくり、産業・観光の振興等に関する施策など12項目をまとめ、平田知事及び徳永県議会議長へ提出いたしました。